

拝啓

時下、先生方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は、弊社製品に関しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さてこの度は、「ROTEM-guide PBM Seminar」を次のとおり開催させていただく  
運びとなりました。

つきましては、ご多用とは存じますが、ご参加賜りますようご案内申し上げます。

謹白

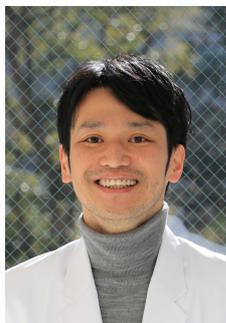
## 「血液粘弾性検査ROTEMの活用：実践編」

日時 ライブ配信

2024年12月6日(金) 18:00~19:00

演者

中澤 春政 先生 杏林大学医学部麻酔科学教室 准教授



### ご略歴

2004年3月 杏林大学医学部卒業  
2006年4月 杏林大学医学部麻酔科学教室入局  
2009年~2010年 葉山ハートセンター麻酔科 心臓麻酔レジデント  
2010年4月 杏林大学医学部麻酔科学教室 助教  
2013年~2016年 Harvard Medical School, Massachusetts General Hospital, Research Fellow  
(Department of Anesthesia, Critical Care and Pain Medicine)  
2016年4月 杏林大学医学部麻酔科学教室 学内講師  
2019年4月 杏林大学医学部麻酔科学教室 講師  
2020年4月 杏林大学医学部麻酔科学教室 准教授(現職)

### 所属学会

日本麻酔科学会(広報委員)、日本心臓血管麻酔学会(理事、文献レビュー学術委員)、気道管理学会(事務局長、評議員)、日本区域麻酔学会(評議員)、体液代謝管理研究会(評議員)、他

## 申込方法

右記の二次元バーコードからお申込みいただけます

(URL : [https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_8ZYGklzRQh-6JdLpyh96xA](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_8ZYGklzRQh-6JdLpyh96xA))



二次元バーコードより  
お申込み  
お申込み締切日：12月4日(水)

後日、ご登録のアドレス  
へ視聴リンクを配信

開催日、「ウェビナーに  
参加」ボタンをクリック  
して参加

- 開催形式：WEB配信（Zoomウェビナー） 定員：500名 参加費：無料（要事前申込）
- お申込み前に、「@zoom.us」ドメインの受信許可設定をお願いいたします。URL付きメールの受信許可設定をお願いいたします。
- お申込みの際、氏名、連絡先などのご登録をお願いしております。ご入力いただきました個人情報、視聴履歴につきましては、弊社のプライバシーポリシー（<https://www.werfen.com/jp/ja/furairhashihorishi>）に基づき、適切に管理いたします。

お問合せ：アイ・エル・ジャパン株式会社 WBH/PBMビジネス本部（金岡、横山）  
〒108-0073 東京都港区三田一丁目3番30号 E-mail : [jp\\_clinical@werfen.com](mailto:jp_clinical@werfen.com)

免責事項：このセミナーは、教育目的でのみ設計されており、商業的なプロモーションや販売デモンストレーションを目的としていません。

主催：アイ・エル・ジャパン株式会社

werfen

# 「血液粘弾性検査ROTEMの活用:実践編」

---

演者

杏林大学医学部麻酔科学教室 准教授

中澤 春政 先生

心臓血管外科手術における止血・凝固異常の原因は様々である。人工心肺の使用による血小板や凝固因子の消費や線溶系の亢進、そして大量輸液による希釈、そしてそれらの複合などにより起きる止血・凝固障害に対して、原因に応じて適切な対応をとることが心臓血管外科手術において出血量を低減させるうえで重要な点である。近年、point-of-careの凝固管理として血液粘弾性検査を利用することで、中央検査室での凝固機能検査の結果を待つことなく、短時間で止血凝固異常の原因を推測する事が可能となってきた。実際、血液粘弾性検査を軸とした止血凝固管理アルゴリズムを利用することで、心臓手術における出血量が減少し、血液製剤の使用量を低減できるとの報告も多い<sup>1)</sup>。しかしながら、これらのアルゴリズムを正しく使用するには、血液粘弾性検査の正確な解釈が必要不可欠である。さらに欧米の止血・凝固アルゴリズムでは、本邦で使用できない薬剤や保険適用がない薬剤も含まれているため、単純に欧米のアルゴリズムを本邦の臨床にそのまま外挿することは難しいため、アルゴリズムを本邦の現状にあわせて若干修正したうえで利用する必要がある。

杏林大学医学部附属病院では、血液粘弾性検査としてROTEMを利用したアルゴリズムを利用することで心臓外科手術の止血・凝固管理を行っている。本セミナーでは、そのアルゴリズムの有用性について実際の臨床データを基にして紹介したい。本セミナーが聴講いただいた皆様にとって有意義なものとなれば幸甚である。

参考文献)

- 1) Karkouti K, Callum J, Wijeyesundera DN, et al. Point-of-care hemostatic testing in cardiac surgery: A stepped-wedge clustered randomized controlled trial. *Circulation*. 2016; 134 (6): 1152-1162.